

決算説明資料

2023年3月期 第2四半期



Listed Company 4241

2022年11月
株式会社アテクト

2023年3月期 第2四半期 業績総括

全社連結業績

(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期比
売上高	1,621	1,442	▲11.1%
売上総利益	823	680	▲17.4%
	50.8%	47.2%	
営業利益	177	95	▲46.2%
	11.0%	6.6%	
経常利益	168	125	▲25.5%
第2四半期純利益	111	98	▲11.4%

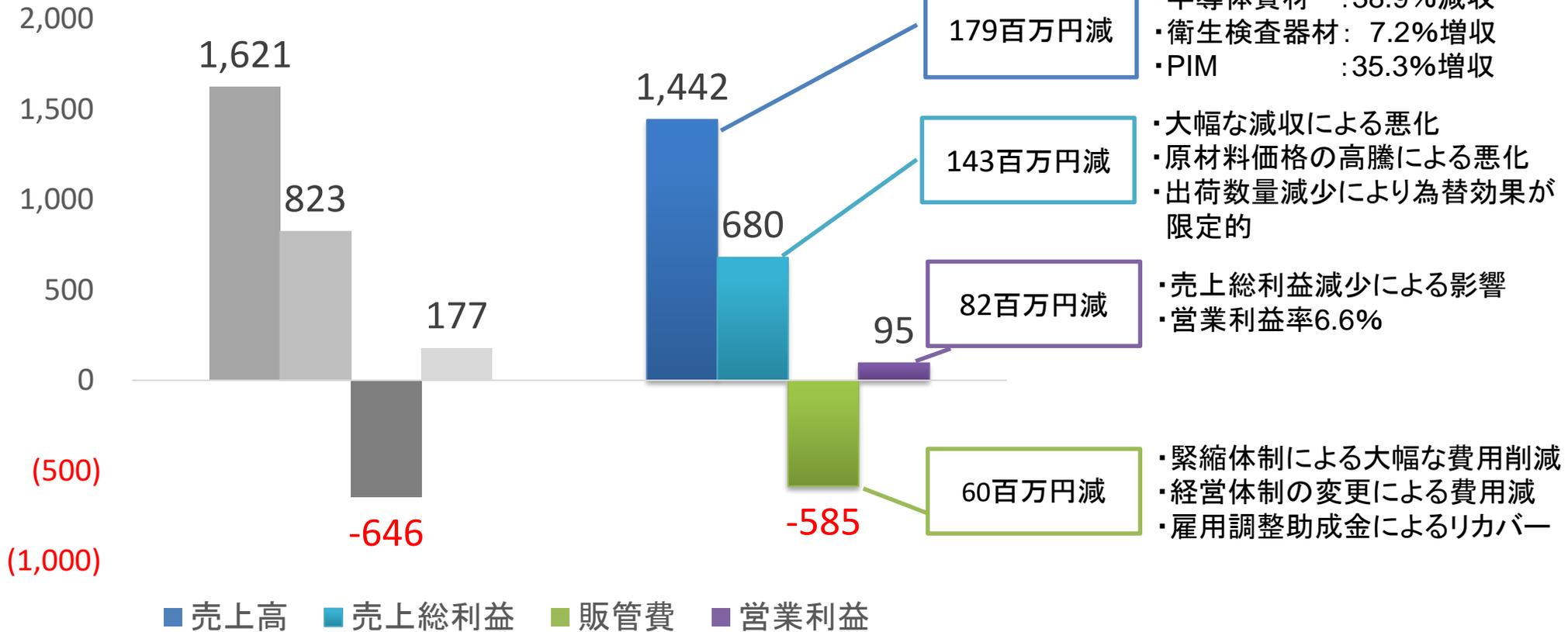
衛生検査器材・PIM事業は増収となったが、半導体資材事業の大幅な減収と原材料費の高騰によりグループ連結業績は減収減益

2023年3月期2Q収益サマリー

(単位:百万円)

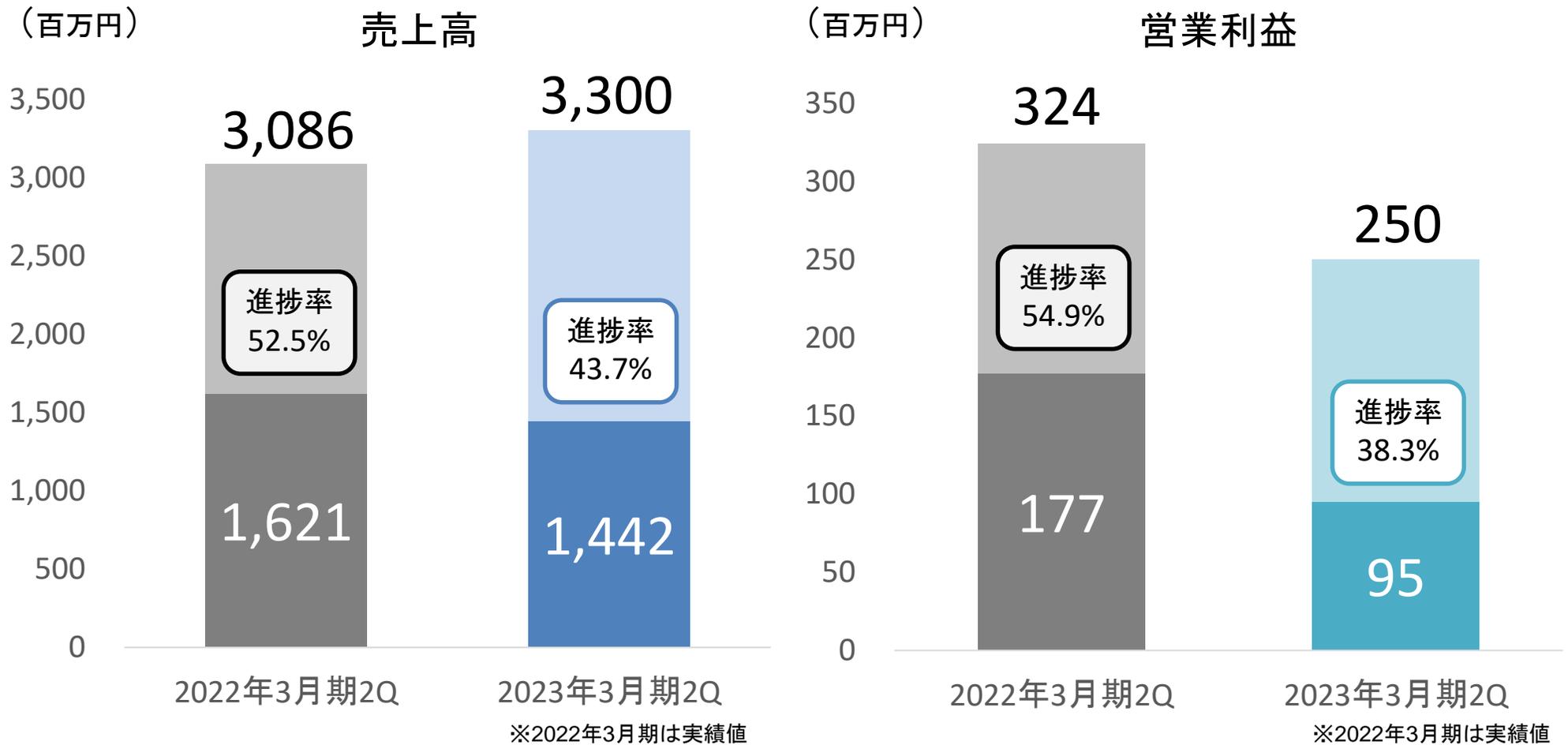
2022年3月期2Q

2023年3月期2Q



売上減・資源高により原価率が悪化、売上総利益は143百万円減少
販売管理費は60百万円圧縮し、営業利益は82百万円減少となった

今期計画に対する進捗



半導体資材事業の業績悪化により、売上高・営業利益共に通期業績予想に対して低調な進捗 ※今後の業績見通しについて(P.11～)

業績悪化の主な要因

1. パネル業界の大幅減産

パネル業界の現況

- ・コロナ禍の巣ごもり特需の一服やインフレに伴う液晶パネル需要の大幅な減少により、業界ではここ10年間で最大規模の減産が続いている
- ・液晶パネルの減産体制は業界全体に広がり、稼働率は60%台に落ち込んでいる
- ・稼働率改善は第4四半期からと推測しており、並行して弊社のスペーサーテープの出荷数量も若干の回復をするものと見ているが、依然として先行きは不透明

半導体資材事業については前年同期比280百万円減収/63百万円減益

2. 材料価格高騰

衛生検査器材のシャーレの主原料であるPS(ポリスチレン)材をはじめ、半導体資材のスペーサーテープの主原料であるPETフィルム等が高騰し、前年同期比41百万円増

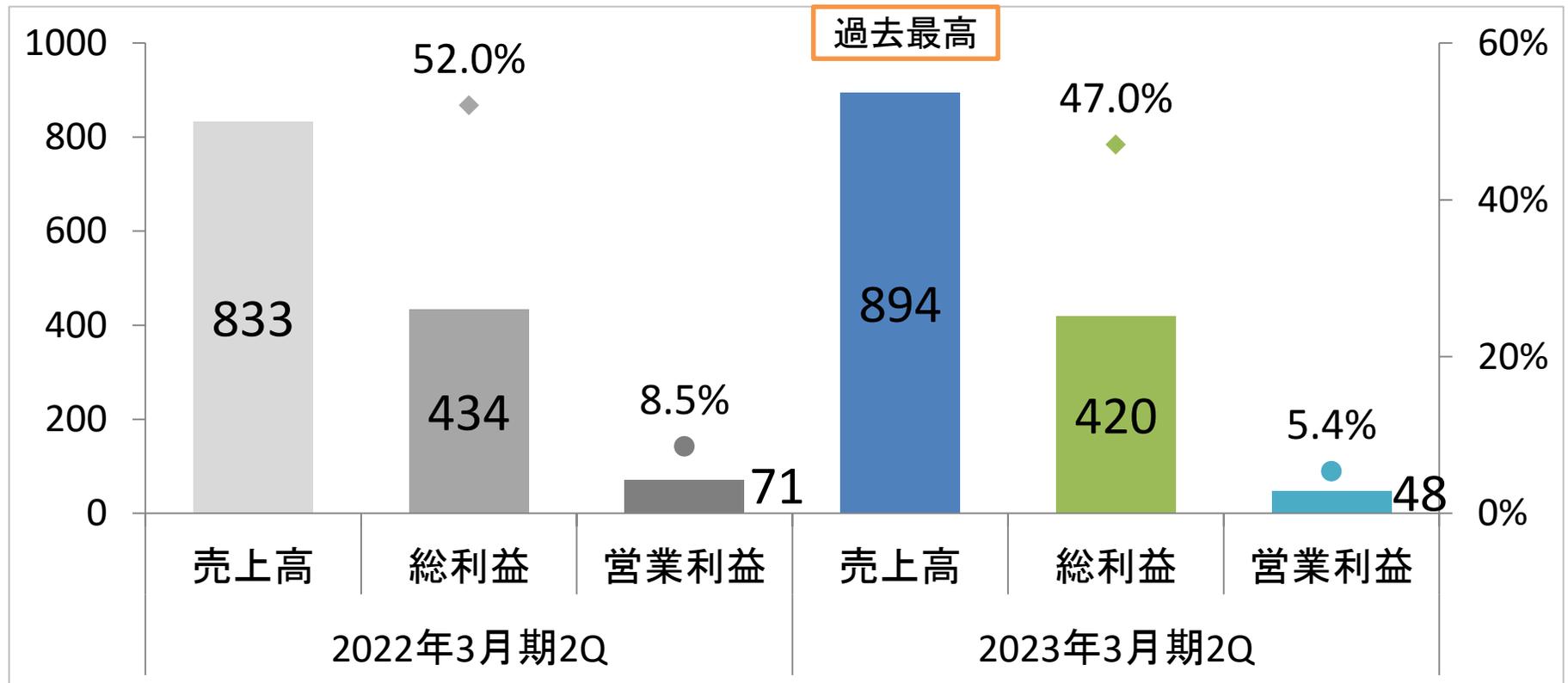
3. 為替好影響が限定的

半導体資材出荷数量の大幅減により、円安・Won/NT\$高による増益効果は前年同期比12百万円増にとどまった

1. 衛生検査器材事業

(単位:百万円)

7.2%増収・32.5%減益



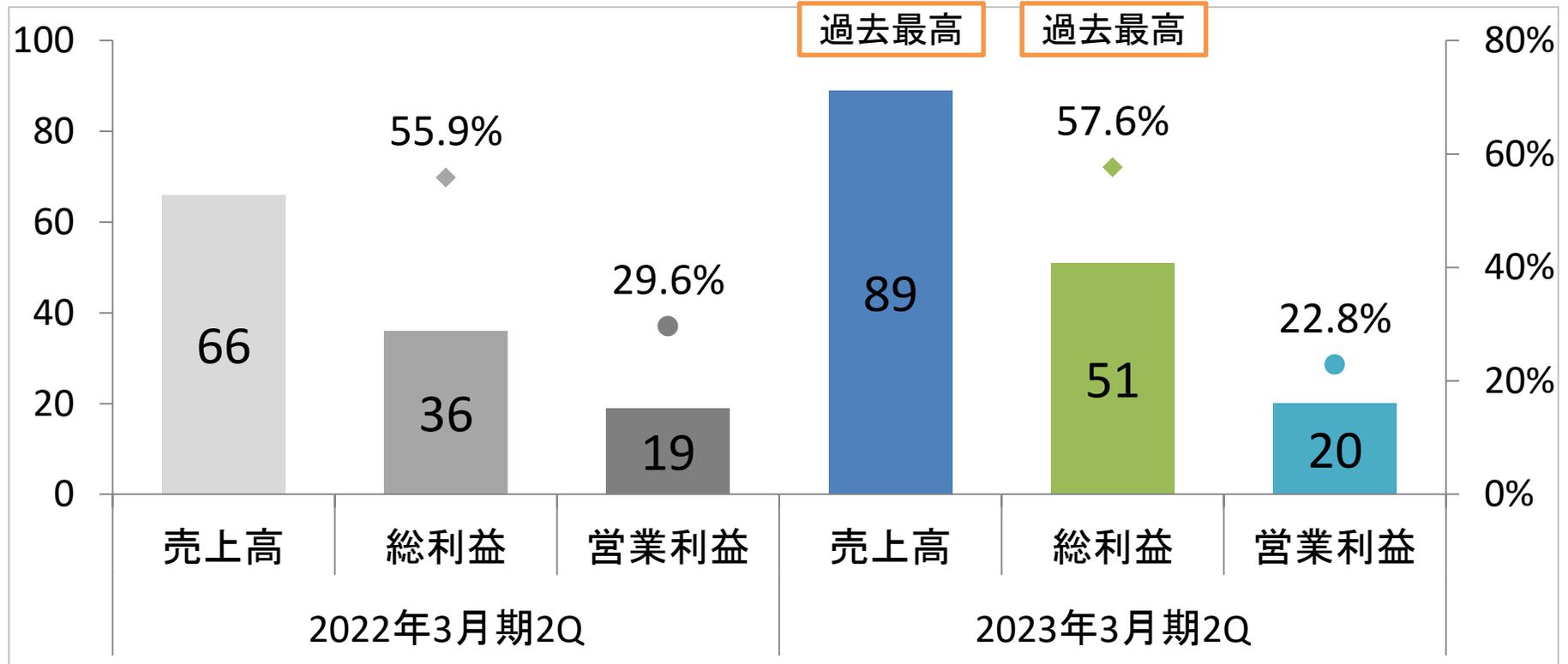
●第2四半期累計で過去最高の売上高

●PS(ポリスチレン)材の価格高騰の影響により、売上総利益率は悪化

2. PIM事業

(単位:百万円)

35.3%増収・4.3%増益

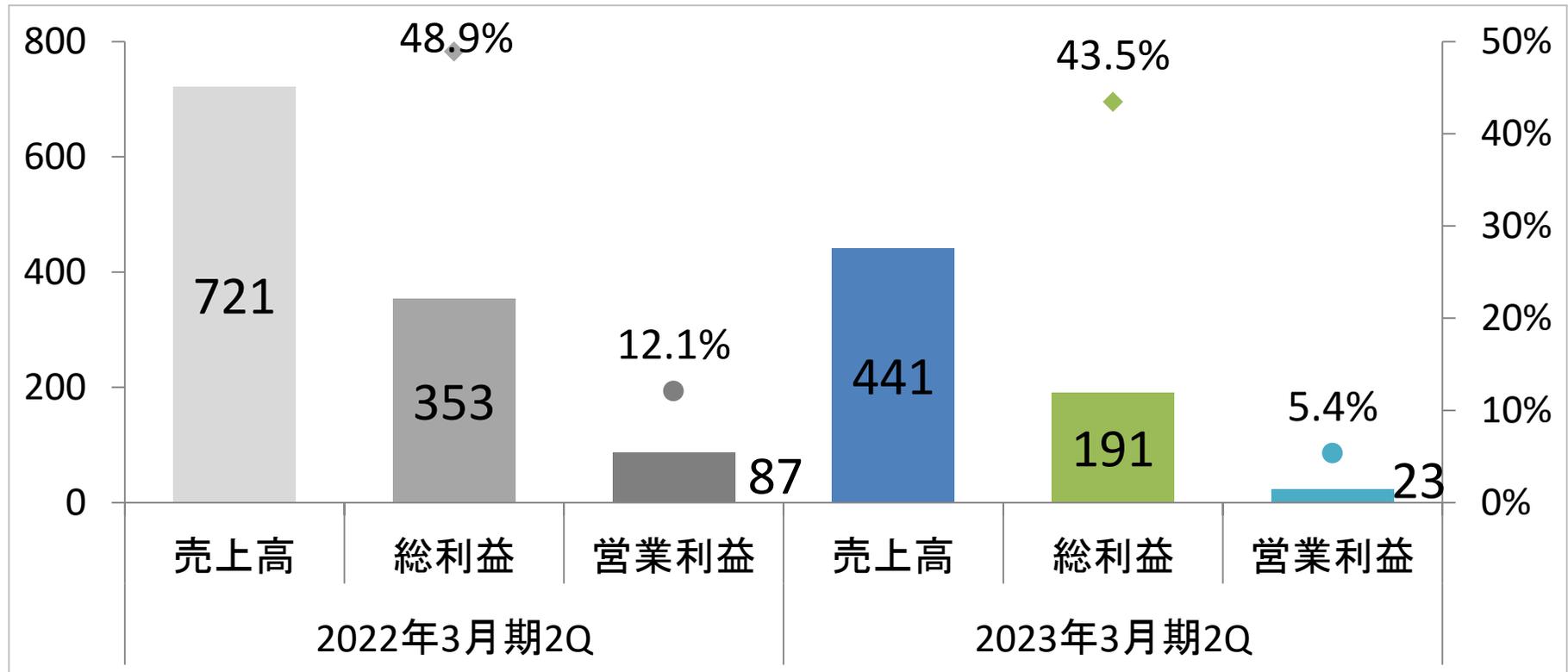


- THK株式会社向け直動型ベアリングやセラミックス製CMOSセンサー等に使用される高機能部品は大幅な受注増
- 自動車用ターボ部品は第3四半期後半より出荷再開の見通し

3. 半導体資材事業

(単位:百万円)

38.9%減収・72.9%減益



●販売数量は前年同期比47.8%減

●数量の大幅減により、円安・Won/NT\$高の効果が得られず売上高は38.9%減

各事業の現況と今後について

衛生検査器材

- ①主にシャーレ製品について高騰が続く原材料費の価格転嫁を継続する
- ②株式会社HIROTSUバイオサイエンス向けがん検査用シャーレ(N-NOSE)の受注増に対応した専用ラインの早期立上げ(今秋稼働予定)
- ③新設した第4の営業拠点である静岡営業所での営業活動を加速

PIM

- ①好調な高機能部品及び自動車部品の本格生産により2期連続の増収を狙う
- ②高機能部品について新たな案件の引き合いが増加しており、早急な量産化を目指す

半導体資材

- ①韓国工場の生産調整による一時帰休により、韓国内においても雇用調整助成金を取得
- ②パネル市場の過剰在庫の現況と今後の需要の見通しを引続き精査

今後の見通しについて

通期業績予想の修正について

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	3,300	250	250	180	40円72銭
今回修正予想(B)	2,800	160	160	120	27円14銭
増減額(B-A)	△500	△90	△90	△60	—
増減率(%)	△15.2	△36.0	△36.0	△33.3	—
(ご参考) 前期連結実績(2022年3月期)	3,086	324	348	169	38円43銭

半導体資材事業の売上高は、当第2四半期までの液晶パネルの世界的な需要減少による在庫過多の影響により、大きく前年割れとなっております。

本格的なパネルメーカーの稼働率改善は第4四半期からと推測しており、平行して弊社のスペーサーテープの出荷数量も若干の回復をするものと見込んでおりますが、従来の業績予想値までの回復が困難であることから業績予想の修正を行います。

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 事業管理部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp